

## 刊行にあたって

---

人という個体が誕生し、その完成形を成人とするならば、それに至るまでにおよそ20年を要する。ただし、各器官や機能によって発達の旺盛な時期に相違があり、成長の速度や質量は一定ではない。また、7歳前後ですでに成人の機能のほぼ70～80%が獲得されているともいわれており、成長のポテンシャルはわれわれの想像以上である。

そのような成長過程で生じる問題を、予防もしくは解消するのが、小児歯科医療であると考えている。つまり、小児の成長のポテンシャルが十分に発揮されるように、小児歯科医療にかかわる者は日常臨床において気づきの目をもち、経時的な観察力と実践的能力といったシームレスな対応力をもっていなければ、その役割を十分に担えない。

さて、先般編集委員の一人として参画した『小児歯科のレベルアップ&ヒント』（デンタルダイヤモンド社）が、小児歯科専門医の先生方にたいへん高評価を得たことは、極めてうれしいかぎりである。今回発刊となる本書は、一般開業医やこれから小児歯科を始めたい、学び直したい先生方を念頭において企画・編集している。大きく診断編と実践編に分かれている本書は全16章で構成されており、より臨床的な理論と術式を紹介している。

予防は当然ながら、実質欠損の修復・補填や、外傷などの突発的問題、確実な効果が期待できる咬合誘導、さらには患児の背景にある心身の問題への留意点など、可能なかぎり多岐にわたるテーマを収載した。執筆者には、診療における基本原則と術式、そして最新のトピックスはおもに大学に所属する先生方に、臨床における工夫と応用については開業医の先生方を中心にご担当いただいている。これから小児歯科を始めたい先生方にはもちろん、日ごろから小児歯科に携わっている先生方にも、足下を固めて基本的な知識や技術をアップデートさせることを目的に、ぜひ本書を手に取り、小児歯科医療の手引きとしていただければ幸いである。

編集委員 田中晃伸